

第2回 南砺市総合計画策定審議会

議 事 概 要

令和元年 10 月 2 日（水） 14:00～16:00

南砺市福野庁舎 2 階講堂

次 第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事
 - ・ビジョン素案にかかるパブリックコメント等の結果について（資料1）
 - ・第2次南砺市総合計画 ビジョン案について（資料2）
 - ・第2次南砺市総合計画の構成（素案）について（資料3）
4. 意見交換
5. 次回の審議会日程について
6. 閉会

主な発言（検討）内容

【開会、中村会長あいさつ】

本日はお忙しい中の参加に感謝する。前回6月に第1回審議会を開催し、全体のビジョンについてのご意見をいただき、人口減少や地方創生やソサエティ5.0など、貴重な意見をいただいていた。今回は、ビジョンおよび行政計画についてのご意見をいただきたい。これらは今後、南砺市が戦略的に取り組まなければならないものであり、そのような観点でご意見をいただきたい。

【市長あいさつ】

お忙しい中、平日の日中と集まりにくい時間におけるご参加に感謝申し上げます。6月21日に第1回審議会を開催し、その後、議会やパブリックコメントなどで意見をいただいた。先週は、8つの地域をまわり、地域審議会においても説明し、ご意見をいただいたところである。この計画を策定する前段として、前回計画の検証や総合戦略の検証を踏まえるべきとのご意見もいただいた。9月には個別計画の検証も進めており、今後、検証結果を行政計画に取り組んでいくとの説明をさせていただいた。総合計画は、市民と行政が共有するビジョンと、それを実現するための方策を定めるものであり、前回提示したビジョンから、若干の修正を行い、今回は3つのキャッチコピーを提示させていただく。

また今回、行政計画部分もお示しするが、まちの姿を我々が進めるために、具体的に行政計画に埋めていく予定であり、忌憚のないご意見をいただければと思う。また、農業や工業などの個別計画もあり、今後、行政の方向性をより分かりやすく進めていくことも必要である。次回の審議会においては、総合計画全体像をお示ししたい。来年度の予算編成も含め、職員の方で進めているところである。

【意見交換】

(ビジョンについて)

○：委員からの質問・意見、●：事務局の意見・回答

○：今回の3つの案は、どれが良いか決めかねているところであるが、中の文章については違和感がある。「南砺市は自然に恵まれ…」と、良いことが半分くらい書いてあるが、南砺市が最近ずっと進めてきたエコビレッジ構想に関する方向性が文章から伝わってこない。エコビレッジの理念が触れられていないと感じる。中ほどに「しかしながら」とあるが、ここでエコビレッジのことが出てくるのかと思いきや、そうとも読めない。目標の中にもエコビレッジ構想について触れるべきではないのか。

南砺市がずっと進めてきた地域包括システムについても、誰一人取り残さない、という考え方も読み取れないのではないかと。また、「場所を選ばず仕事をしたい」との文の意味が分かりにくい。一番最後に、「自分ごととして取り組むことで」とあるが、今から南砺市が取り組もうとしている小規模多機能自治都市について、「自分ごととして・・・」だけでなく、地域が一丸となって取り組んでいくべきである旨を記載すべきではないか。目指すべき都市の姿については4番目に書いているようであるが、文章で読み取れない。

○：案1～3の中なら、ダントツで2が良い。それよりも、本文の中で、前回の意見でも申し上げたが、場所として「選ばれ」がどうしても外に向きすぎているように思う。例えば、「このような社会の流れのなかで、市民にとって、育ちたい、住みたい、繋がりた場所となり・・・」のように、市民がどう考えるのかを一番に持ってくるべきである。

誰一人取り残さない、という考え方は良いが、少々乱用気味ではないか。「今なすべきことを取り組むことで、お互い認め合い、誰一人取り残さない・・・」という順番の方が良い。

「自分ごととして」は、小規模多機能自治の言葉で使用されているが、違和感がある。若いころから地域のために活躍されてきた方が、高齢になったときに、若い人に任せるという考え方もあるのではないかと。いつまでも自分のために、という考え方もやや押しつけがましいのではないかと。そういった意味では、目指すべきまちの姿の2は納得できるが、4の「自分ごととし」は不要ではないか。

●：エコビレッジ、地域包括ケアシステム、小規模多機能自治を今後も進めていくのならば、そういった文章を含めるのではないかとという意見であるが、今後考えてみたい。「選ばれる」「自分ごと」などのキーワードについても、今後検討したい。

○：住んでいてよかった、これからも住み続けたい、と思ってもらえればよい。南砺市

民に向けた表現を、と言われたが、南砺市の人口も減少傾向にあることから、外向けの方も対象とした記載もあってもよいのではないか。キャッチコピーについては、「一流の田舎」について、言葉の定義がどこかに記載されていることが必要ではないか。

○：定義は無いと思うので、南砺市が示していくべきものである。良い意味で表現に引っ掛かりを覚えてもらえれば、それでも良いのではないか。

○：文面について、「しかしながら」がどこで終わっているのか分からない。時代の変化について、どこかで段落が終わらなければならないのではないか。「本市が目標とする・・・」で段落を変えるべきではないか。

土徳の精神が、今も残っているのかについて、孤軍奮闘している状況の中、素晴らしいことだけを記載する文章でよいのか。

○：委員がおっしゃったのはもつともであり、住んでいる人も南砺市の貴重な財産を気づいていない、もったいない状況活かしきれていない状況であり、一方で外に向けては、という流れになるのではないか。「選ばれ」という表現については気を使い、内と外を一緒にするのではなく、丁寧に別々に記載すべきではないのか。

●：様々な南砺市の特徴をいかにコンパクトにまとめるのかは難しいが、みなさんのご意見を踏まえ、文章のつくりを推敲させていただきたい。

○：「一流の田舎」が心地よい言葉であるが、10年後、どのような一流の田舎となるかの方向性を記載してもらいたい。また、総合計画は現在住んでいる住民が今後も住み続けることに力を入れているが、10年後、どの程度外国人が住んでいるのか、中国などから転入してきて、言葉が通じないなどの問題もあり、今後、外国人労働者や移住者も、大きな力となるものであり、そのような内容も示してもらいたい。

○：ビジョンについては、しっかりと柱立てをすべきである。前段は南砺市の良い点、「しかしながら」で時代の変化がありこれまで通りにはいかないこと、その後、ビジョンを示すという流れが必要である。ビジョンから、最終的にキャッチコピーに繋がる、網羅されているものとしては、第3案がよいのではないかと考える。「一流の田舎」では、文章で表現され切れていないのかと思う。

○：将来像については、案3が良いと思う。「暮らし続けたいまち」とした方が良い。「一流の田舎」のような、目をつくキャッチコピーがあった方がよいのではないか。

○：案1では頭に「一流の田舎」が入っている、案3は最後のフィニッシュに「一流の田舎」があった方がよい。今後劇的に時代が変わってくると思われるが、一流の田舎を目指すべきものである。今が一流な訳ではなく、10年後「一流」となるべきである。ローカルサミットにおいては、何が目指すべき一流の田舎であるのかを検討する予定である。

○：将来像において、キャッチコピーはどういった位置づけなのか。案1では「南砺の挑戦」となっている。私は2つ目が良いと思う。ただ「誇り」が気になる。キャッチコピーのキーワードは慎重にすべきである。また、「小さな」は敢えて入れなくても良いのではないか。

○：次回、1つにしぼりこんだものを提示してもらいたい。

●：文章も、今月中に配付させていただくつもりである。

■資料3（計画の構成）について

- ：「安全・安心な南砺市」の考え方を入れなくてもよいのか。また、「特色ある学校選択制」と記載してもよいものか。また、多様性を認めるということで、外国人と共生する社会を作っていく必要がある。ぜひ盛り込んでいただきたい。小規模多機能自治については、あらゆるところに関わってくるのではないのか。
- ：安全・安心については、いつ何時発生するか分からないものであり、総合計画に関わらず進めるべきという認識である。外国人については、②の「多様性を認める社会の構築」に包含していると考えている。小規模多機能自治については、再掲という形で入れさせていただく。
- ：小規模多機能自治については、手法をつかってしっかり進めるということであり、全て再掲すると煩雑となると思われる。また、特色ある学校選択制について、青少年育成について、スポーツやブラスバンドなど、チーム編成ができなくなるとどうすればよいのか。生徒数が少なくなってきたら考えなければならない問題である。
- ：学校選択制について、説明されると分かるが、全然別のイメージを持ってしまう。小中一貫などのことを記載すればよい。
- ：山村入学の受け入れについては、これまで3年間続けてきたが、今後の長期の受け入れを検討中である。課外活動については、どの中学校も部活生徒が少なく部活数が多い一方、クラブチームが充実している現状がある。今後10年間は考えなければならない旨を記載させていただいた。
- ：教育計画に入れるかどうかは今後精査させていただく。
- ：多様性を認める社会の構築について、切り口を変えるべきではないか。人権問題について、南砺市は結婚出産ありきという考え方も、今は変わりつつある。色々な選択肢がある中で、外国人や障害者、LGBTなど、内容を検討いただきたい。
- ：ここに入れるべきものであり、方針の中に入れさせていただいた。今後、「やるべきこと」は増やしていく。
- ：総花型ではなく、南砺市は特記型であることをどこかに説明すべきではないか。
- ：「若者の希望にあう職の充実」について、どのように実現していくのか。また、関係人口の拡大をどのように進めていくのか。千葉県の場合をかんがみ、電柱の地中化や強化などが必要なのではないのか。
- ：ここに書いていないから実施しないという訳ではないことを理解していただきたい。総合計画においては、総合戦略を中心に、戦略的に取り組んでいく内容を記載することが本計画の役割である。
- ：やるべきことについては、今後市で検討するということ、また戦略的な事業を抜き出して記載する、それ以外のものは個別計画に盛り込んでいるという理解でよいか。
- ：その通りである。個別計画に記載していても、ビジョンの実現のために必要な事業をピックアップするという考え方である。
- ：現在、個別計画の一部を総合計画に記載するという訳ではなく、移住定住施策については、該当する計画がない。また、人権についても、個別計画を策定する予定は今

のところない。しかし、個別計画にない事業であっても、10年後のまちの姿に繋がるものであれば、行政計画に掲載してきたい。現在ある計画の一部を切り出す訳ではない。

- ：個別計画は4つに分類されているが、実際は重複するものも多いと思われる。
- ：複数にまたがる計画もあろうかと思う。表現を工夫したい。
- ：縦割と思われないように、SDGsの番号を対応させてはどうか。
- ：中学3年生でも分かりやすい表現とすることはできないか。横文字が分からない。できるだけ横文字を少なくする方法はないのか。
- ：各種計画を作る際に、そのような意見はよく聞く。なるべく横文字を少なくしたいとも思っているが、社会一般的に使われているものはやむを得ないところもある。注釈などをつけてなるべく対応したい。
- ：目指す将来像の3つの案について、案1と案2について、南砺市らしいものが必要と会長が言っていたので、案1と案2を合わせてもよいのではないか。また、目指すべきまちの姿について、例えば①ならば「人づくり」など、単純に表現してはどうか。
- ：まちの姿について、表現を考えたい。やるべきことの施策については、今後意見をいただきたい。これで全て決まったという訳ではない。ただ、総花的なものとはならないことをご理解いただきたい。
- ：色々な思いが詰まったキャッチコピーとしてもらいたい。
- ：計画の策定スケジュールをご提示・ご説明いただきたい。

以上

